



全波形データ記録 航空レーザー用データレコーダー

## RIEGL DR560-RD



RIEGL DR560-RD は、RIEGL 航空レーザースキャナー LMS-Q560、LMS-Q680 と組み合わせて、全波形分析を行うためのデジタルデータレコーダーです。500GByte ハードディスクドライブ内蔵の取外し可能なディスクを2つ使用する事で、スムーズなオペレーションができます。

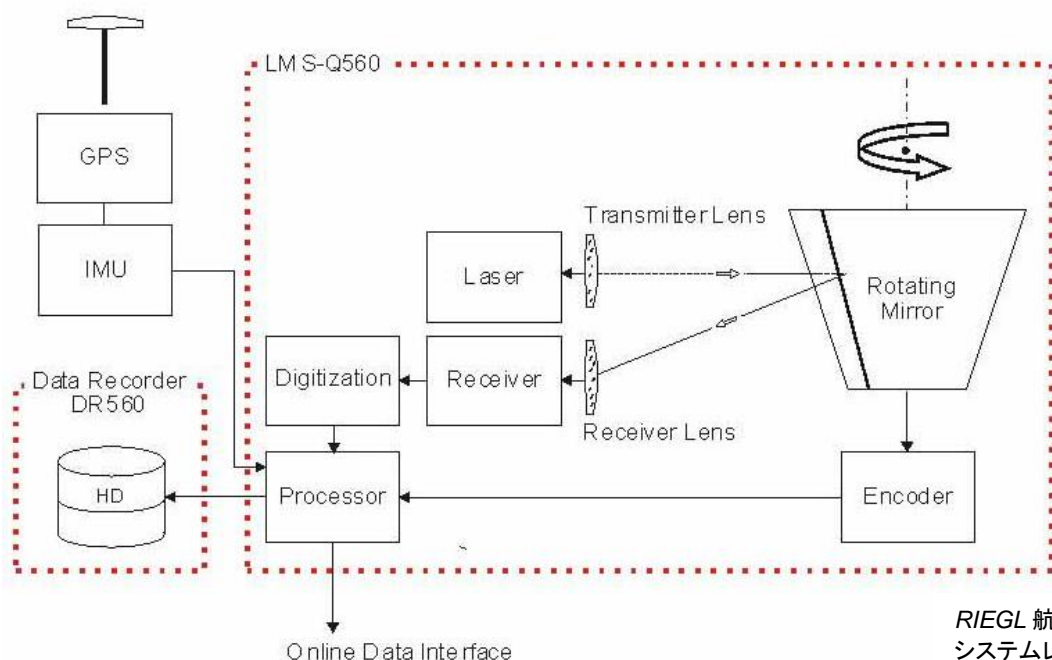
高性能なデータストレージデバイスは、RIEGL 航空レーザースキャナーからの連続高速データ入力を扱う事が可能です。

RIEGL データレコーダーDR56-RD は、より高いデータ品質を確保する為に RAID1をサポートし、より増大するデータ処理能力の為に RAID0 をサポートしています。

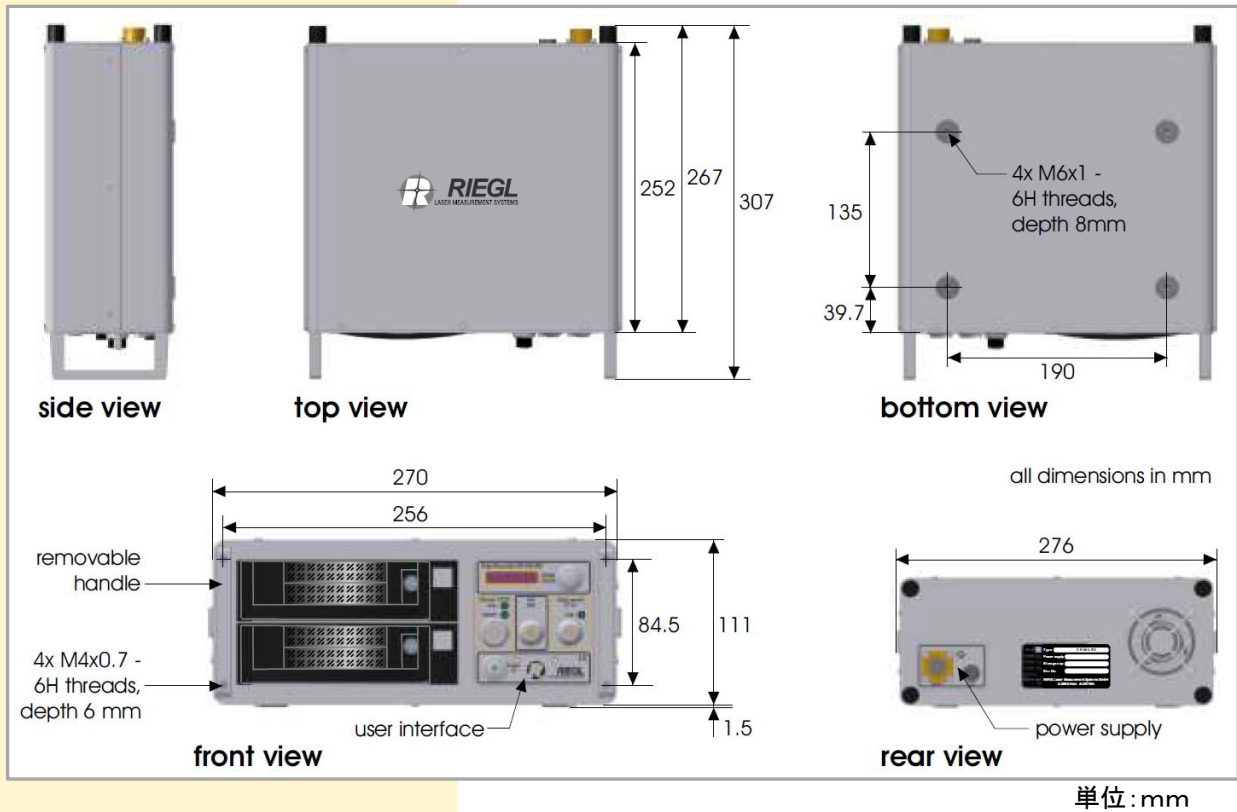
さらに、全波形データをハードディスクに転送する前に、オンラインでデータ整合性チェックを実行されます。

### 特長

- ・ 取り外し可能なハードディスク
- ・ 1,000 GByte までの記録容量
- ・ 24 時間までの航空レーザーデータロギング容量
- ・ 80 MByte/秒の入力データレート
- ・ 60 MByte/秒の高速データダウンロード
- ・ RAID 0 ,RAID 1 をサポート
- ・ オンライン データ整合性チェック



## DR560 寸法図



## DR560 技術データ

### データレコーダー性能

	シングルハードディスク	RAID 0	RAID 1
記憶容量	2 x 500 GByte	1000 GByte	500 GByte
データ転送レート (入力)	40 MByte/秒まで	80 MByte/秒まで	40 MByte/秒まで
ロギング容量 <sup>1)</sup>	標準 2 x 12 時間	標準 24 時間	標準 12 時間
データ転送レート (出力) <sup>2)</sup>	60 MByte/秒まで		

(1) LMS-Q560 のレーザーパルス繰り返し周波数 100kHz で、2つのターゲット(200Bytes/測定)、スキャン角 45° の場合。  
 (2) 最新の PC の SATA インターフェースのある取り付けフレームにリムーバルディスク

### データインターフェース

入力インターフェース  
出力インターフェース

高速シリアルデータリンク  
リムーバルディスクキャリアの SATA

### 一般技術データ

電源入力  
消費流  
主 寸 法  
重 量  
最大飛行高度 (作動中)  
最大飛行高度 (非作動中)  
温度範囲

18 - 32 VDC  
約 2.2 A@24V DC  
307 x 276 x 113 mm (L x W x H)  
約 6.4kg (2 個のディスクキャリア含む)  
基準海面より 3,050m (10,000 ft)  
基準海面より 5,500m (18,000 ft)  
0°C ~ +40°C (作動)  
-10°C ~ +50°C (保管)